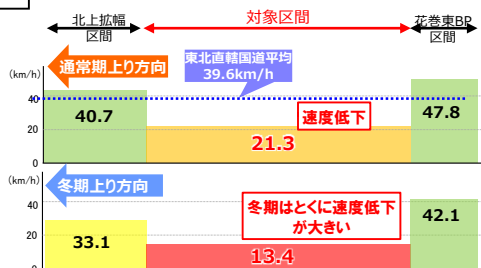


一般国道4号 岩手県北上花巻道路における計画段階評価

1. 岩手県北上花巻地区の課題

①交通混雑による速度低下

○対象区間は整備済み区間に挟まれた2車線区間となっており、前後区間に比べ大きく速度が低下。冬期はさらに速度が低下。(図1)



②物流を阻害

○対象区間は、南北方面に製品を輸送する際の物流ルートとして利用されているが、輸送ルート上問題が多い区間として利用企業から指摘されており、円滑な交通確保が課題。(図2、3、写真1)

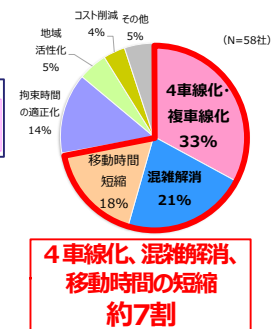
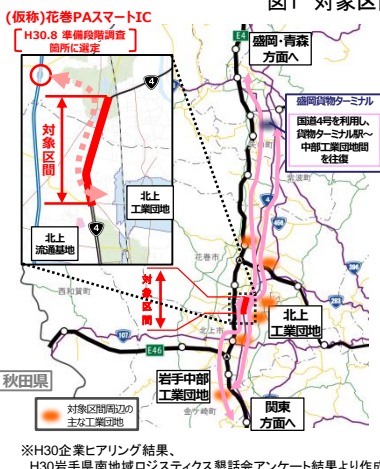


図3 対象地域周辺企業が2車線区間に期待する内容 ※H30岩手県南地域ロジスティクス懇話会アンケート結果

③交通事故の発生

○対象区間では過去10年間で死亡事故が3件発生。
○4車線から2車線に車線が減少する北上工業団地口交差点では、死傷事故率が岩手県直轄国道平均事故率の約10倍。(図4)
○更なる交通需要の増加が見込まれる中、安全・安心な交通の確保が課題。

図2 対象区間を利用する流動イメージ

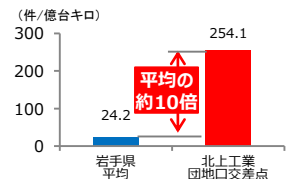


図4 対象区間の死傷事故率(事故率最大箇所) 資料: H26-29交通事故データ

④救急車両への支障

○花巻市における救急搬送先では、全体の約5割が北上市の病院へ搬送されているが、幅員が狭く、緊急車両の円滑な走行性確保に課題。(図5、写真2)

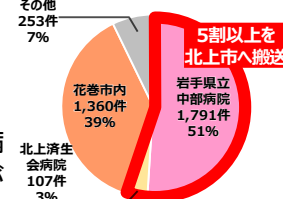


図5 花巻消防の二次・三次医療施設への救急搬送先(H30) 資料: 花巻市消防(H31)

2. 原因分析

①容量不足による混雑

○対象区間は混雑度1.40と高く、南北軸を断面として評価しても断面の交通量が断面合計の交通容量を超過しており、当該区間が交通のボトルネックとなり、円滑な物流を阻害(図6)

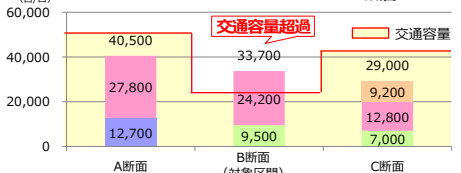
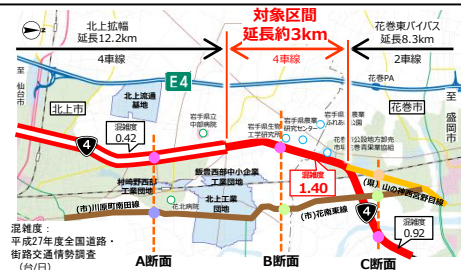


図6 国道4号北上花巻地区の交通量・混雑度 資料: H30年度交通量調査結果より 混雑度は道路交通センサスの混雑度算定の考え方に基づき算出

○また、ほぼ全区間に渡り適切な路肩幅員が確保されておらず、冬期は路肩に堆雪した雪の影響でさらに速度が低下(図7)

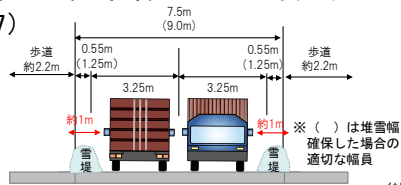


図7 対象区間の幅員状況

②企業集積の進行

○当該地域では企業の新設・増設が進展しており、更に、現在世界有数の半導体企業が北上市に新工場を建設中であり、今後、更なる交通需要の増加が見込まれる。(図8)

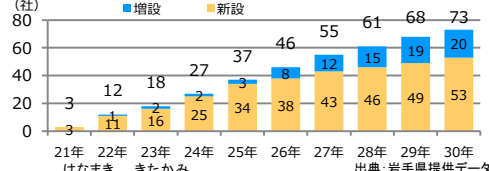


図8 花巻市・北上市における企業進出の状況(累計) 出典: 岩手県提供データ

③交通混雑による追突事故

○対象区間の事故類型をみると、混雑に起因する追突事故が全体の約8割を占めている。(図9)

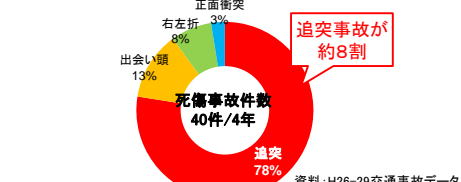


図9 対象区間の死傷事故類型 資料: H26-29交通事故データ

④幅員狭隘区間での走行支障

○2車線区間で幅員が狭く、緊急車両の走行に支障をきたしている。(図10)

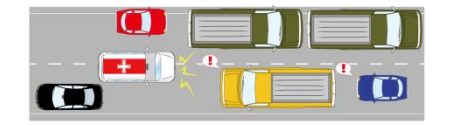


図10 車線区間における救急搬送時の問題点

3. 政策目標

①交通容量の確保による渋滞の緩和

②円滑な物流ルートの確保

③交通安全の確保

④安定した救急搬送ルートの確保

一般国道4号 岩手県北上花巻道路における計画段階評価

きたかみ はなまき

4. 対策案の検討

評価項目		現道拡幅案 延長約3km	ソフト施策+交差点改良案 延長約3km
ルート案の主旨		・全線の4車線拡幅と必要な道路幅員の確保により、交通容量と安全・安心な通行空間を確保するルート	・TDM等のソフト施策及び2交差点の改良により、交通需要のコントロールと安全な通行を確保するルート
政策目標	交通容量の確保による渋滞の緩和	○ 全線の4車線化により、容量が確保され、現道の交通混雑が緩和する	△ 時差出勤、公共交通機関等の利用促進により通勤時間帯の交通混雑は緩和するが、交通容量は変わらないため、抜本的な解消にはつながらない
	円滑な物流ルートの確保	○ 交通混雑の緩和により、ボトルネックが解消し円滑な物流ルートが確保され、企業立地や雇用の拡大など、産業発展に寄与	△ 信号制御の高度化※2により交差点部の渋滞は緩和するが、単路部は現状と変わらないため、ボトルネックの抜本的な解消にはつながらない
	交通安全の確保	○ 全線の4車線化により、混雑に起因する追突事故が減少する	△ 交差点改良により事業区間内の事故は減少するが、その他の区間は現況と変わらないため、事故の低減にはつながらない
	安定した救急搬送ルートの確保	○ 必要な道路幅員が確保され、緊急車両の走行性・速達性が向上し、安定した走行が期待される	× 道路幅員は現状と変わらないため、緊急車両の走行性・速達性は向上しない
配慮すべき事項	地域の環境	○ 整備による騒音環境等への影響は小さい	○ 現況と変わらないため影響なし
	地域の土地利用	○ 建物（家屋・小屋等）への支障はあるが、沿道の利用形態は変化しないため影響は小さい	○ 現況と変わらないため影響なし
	経済性	- 約60~70億円	- 約15~20億円（交差点改良事業）

※1現時点の概算であり、今後のルート検討、土地利用状況等により、金額が変更となる場合がある

※2 実測交通量に合わせ、リアルタイムに信号制御を行う方式(MODERATO等)

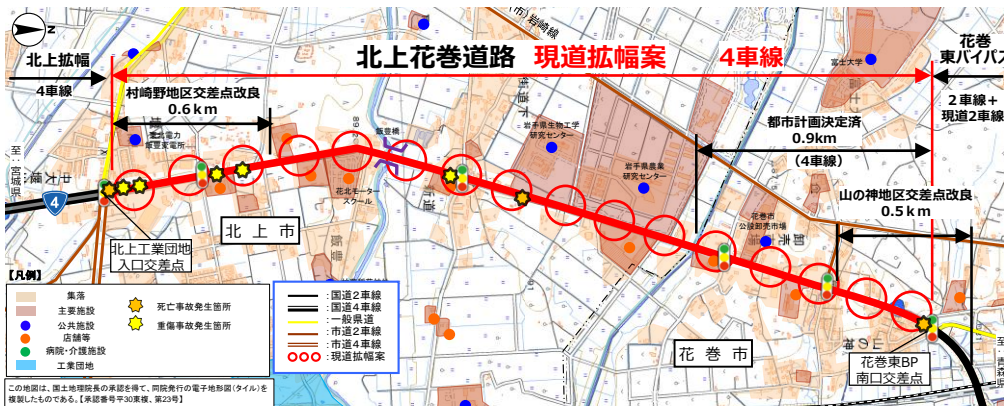


図11 北上花巻地区における対策案検討

対応方針: 現道拡幅による対策が妥当

【計画概要】

- ・路線名: 一般国道4号 北上花巻道路
- ・区間: 岩手県北上市村崎野 ~ 岩手県花巻市山の神
- ・概略延長: 約3km
- ・設計速度: 80km/h
- ・標準車線数: 4車線
- ・概ねのルート: 図11の現道拡幅案の通り

(参考) 当該事業の経緯等

地元調整の状況等

- R1.6: 第1回地方小委員会(地域や道路の状況と課題、比較案の設定、対応方針(案)のまとめ)
- R2.2: 都市計画変更

地域の要望等

- R1.5 岩手県知事が調査推進を要望
- R1.6 花巻市長が4車線拡幅整備を要望
- R1.10 国道4号岩手県南地域拡幅整備促進期成同盟会が4車線早期事業化を要望
- R1.11 岩手県知事、花巻市長が4車線早期事業化を要望
- R2.2 岩手県知事、花巻市長、北上市長が4車線早期事業化を要望

【案①】標準横断面(イメージ)

